

2024.8.27 第34回 都市美対策審議会 政策検討部会資料

# 旧市庁舎街区活用事業における 景観形成について

## 事業者

### 代表企業

三井不動産株式会社

### 構成員

鹿島建設株式会社

京浜急行電鉄株式会社

第一生命保険株式会社

株式会社竹中工務店

株式会社ディー・エヌ・エー

東急株式会社

株式会社関内ホテルマネジメント

# 目次

1.本事業における景観形成の基本的な考え方	3
2.これまでの都市美対策審議会での合意事項	4
【広場】 駅前広場の活用方法(大枠:動線と滞留空間の整理、イベント時のステージや観覧の場の整理)	
【近景】 LVA棟の形態意匠(デジタルサイネージの形状と運用:柱型形状、外壁の一部としての賑わい演出)	
3.設計変更の目的と変更点	5
4.景観形成の考え方	6
●実現したい演出コンセプト	
●演出の具体イメージ	
【補足】	
・コンテンツの質の担保	
・夜間景観	
・サイネージの視野範囲	
・周辺街区と連携した一体感のある賑わい形成	

1. 本事業における景観形成の基本的考え方（第24回都市美対策審議会政策検討部会資料）



「継承」

歴史と文化を継承し、原風景を尊重、  
緑豊かで風格ある景観を形成



「再生」

回遊性、界限性を高め、変化にあふれる  
ウォーカブルなまちづくりでかつてのにぎわいを再生



「創造」

街並みと調和しつつ、関内・関外地区の  
新たなシンボルを創造

この景観形成の基本的考え方を下記6つの視点で検討し、魅力ある施設・空間へ落とし込んで参ります。



遠景



近景

今回の設計変更に関連する視点

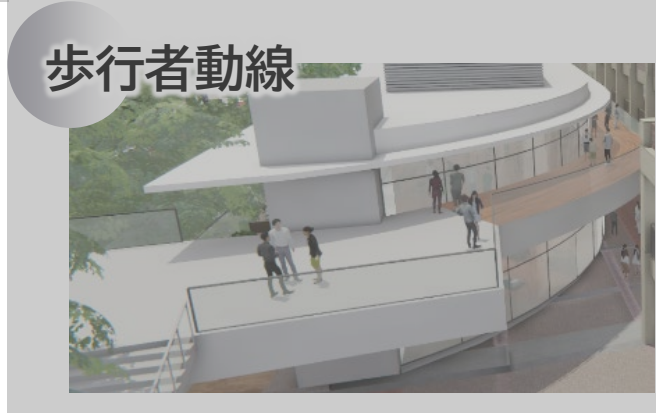


緑の配置と演出



広場

今回の設計変更に関連する視点



歩行者動線



旧市庁舎建物の活用

6つの視点

※横浜市「関内駅周辺地区  
AREA CONCEPT  
BOOK」より



# 2. これまでの都市美対策審議会での合意事項

## ●第26回政策検討部会



## ●第27回政策検討部会



## ●第30回政策検討部会



【近景】LVA棟の形態意匠

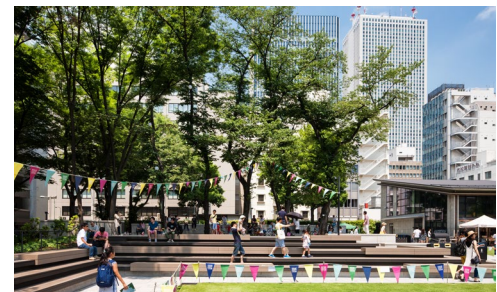
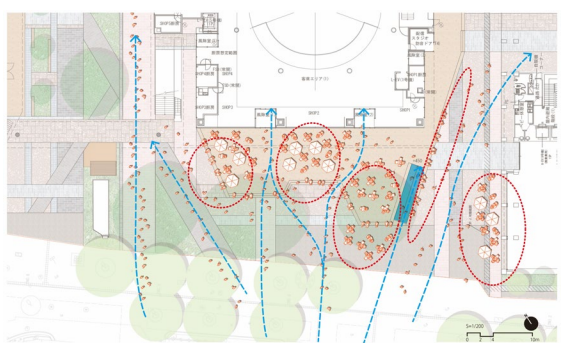
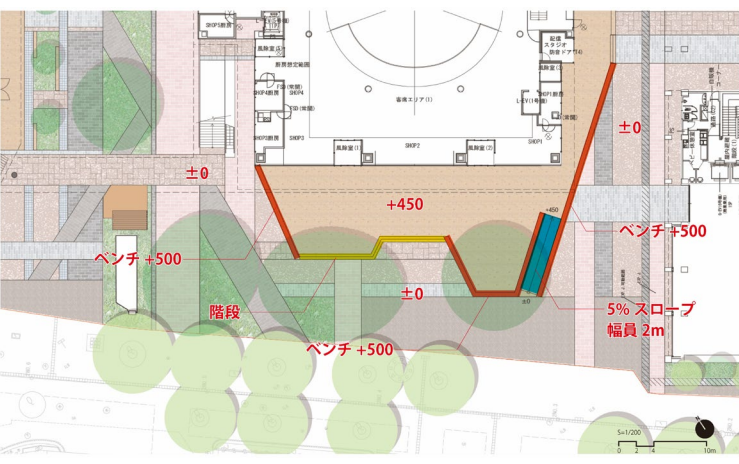
- ・行政棟のレンガ調を外観のベースとして継承し既存建物と調和を図る
- ・水平ラインで一体感ある駅前空間を形成、新旧のデザイン要素を繋ぐ
- ・LVA棟は行政棟の伝統や品格を踏襲したレンガ素材のファサードとする
- ・駅前広場に対して開放的な設えとし、広場と一体となった賑わいを演出
- ・夜間照明はデジタルサイネージなど新しい技術を駆使し、新しい関内の魅力を発信

- ・外壁の一部として色・模様に変化するLVAデジタルサイネージを配置し、関内地区の玄関口としての風格や、賑わいのある空間を形成

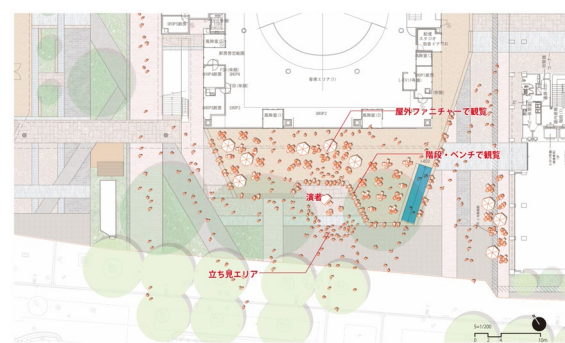
- ・LVA 3Fと屋上の一体化
- ・黒系メタルを採用し、レンガ調の色、白色の水平ラインを引き立たせる
- ・レンガ調タイルからレンガ調ルーバーに変更し、施設内部のにぎわいを滲み出す

【広場】駅前広場の活用方法の大枠

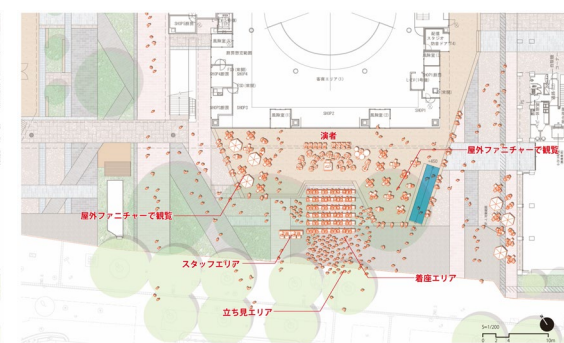
- ・日常時の動線と滞留空間
- ・小規模なイベント時の使い方 (デッキ下をステージとして想定)
- ・大規模なイベント時の使い方 (デッキ上をステージとして想定)



[日常時]



[小規模イベント時]



[大規模イベント時]



事業コンセプト

# MINATO-MACHI LIVE

-ここに再び次代の横浜を支える感動が湧き上がり、  
スタジアムと共にみなぎるエネルギーと溢れる賑わいを  
生み出す源泉を創造します-



## 変更の目的

第30回都市美指摘事項

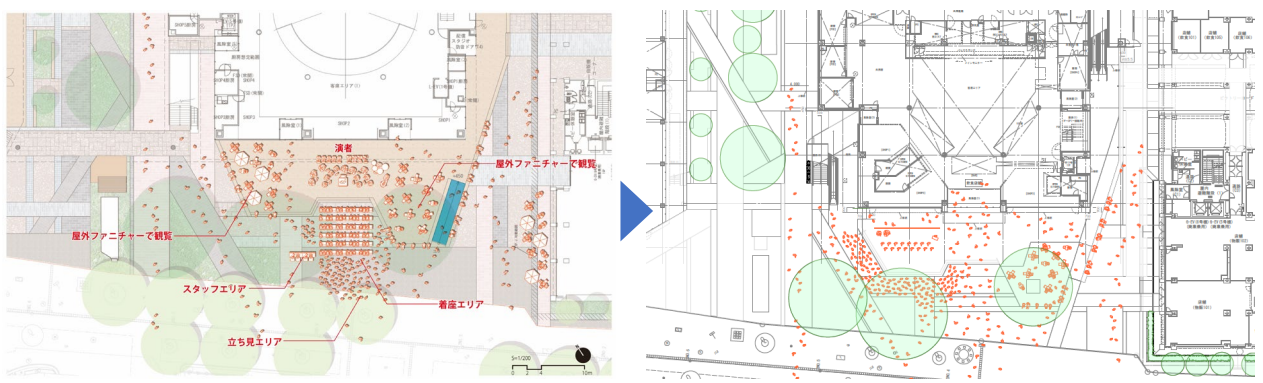
指摘を踏まえた  
**広場活用方法の検討**

事業コンセプトに基づいた  
**LIVE感ある賑わいの強化**

## 変更点

### ①【広場】駅前広場の活用方法の具体化

- ・動線と滞留空間の整理  
→賑わいを生み出す装置の具体化／イベントの具体化



### ②【近景】LVA棟の形態意匠(デジタルサイネージ)

- ・形状を柱型→盤面型に変更
- ・運用を外壁の一部としての賑わい→ハレとケの演出コンテンツ





実現したい演出コンセプト

「ハレ」と「ケ」で演出を分け、  
関内らしい風格のある駅前空間を創出

「ハレ」  
—LIVE感のある賑わいを演出—



「ケ」  
—居心地の良い滞留空間を演出—



今後変更の可能性があります



# 4. 景観形成の考え方

## 演出の具体イメージ

野球の試合(LVAとスタジアム)と連動した駅前広場  
デジタルサイネージのと音響等により駅前の賑わい空間を創出する

**【サイネージ】**

野球関連情報

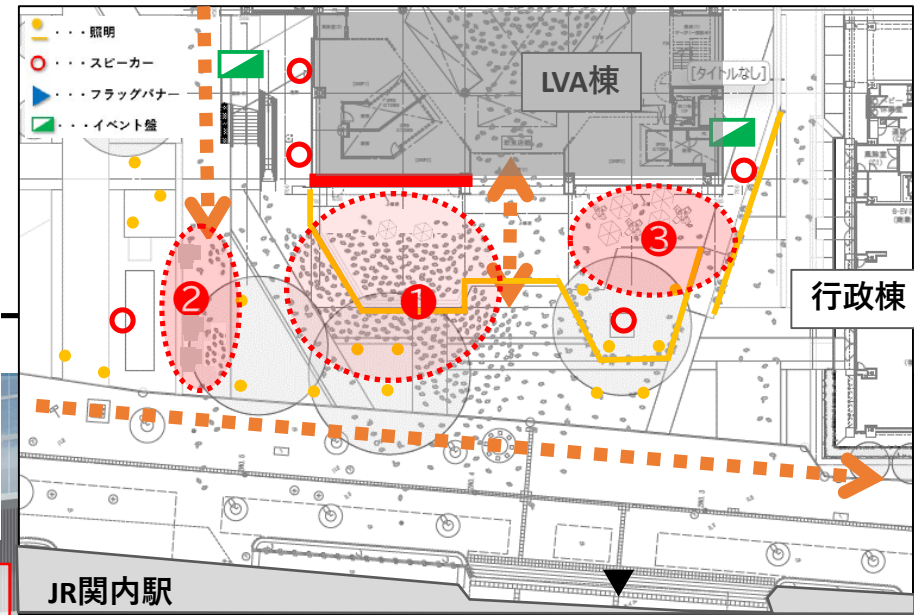
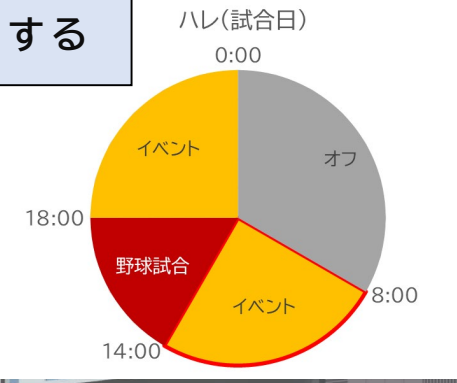


プロモーション動画



第三者広告





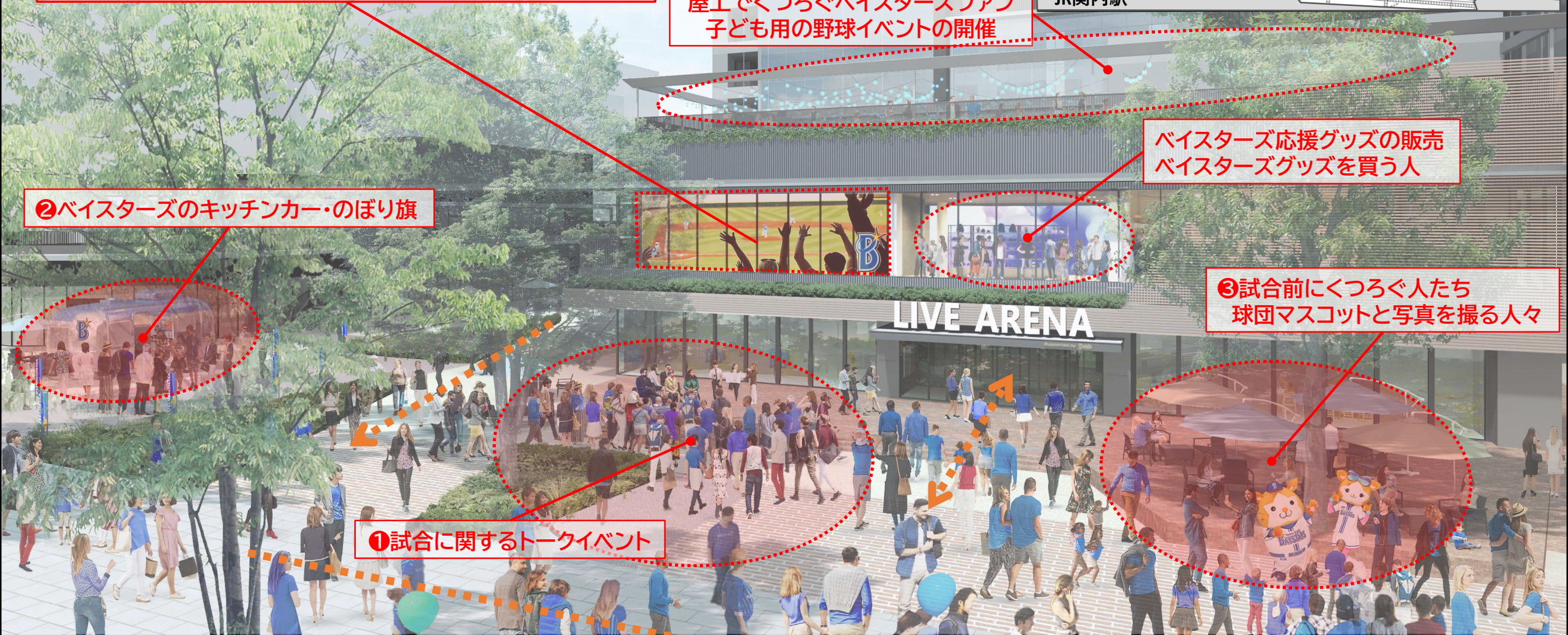
屋上でくつろぐベイスターズファン  
子ども用の野球イベントの開催

ベイスターズ応援グッズの販売  
ベイスターズグッズを買う人

③ 試合前にくつろぐ人たち  
球団マスコットと写真を撮る人々

② ベイスターズのキッチンカー・のぼり旗

① 試合に関するトークイベント



今後変更の可能性があります



# 4. 景観形成の考え方

## 演出の具体イメージ

### 様々なシーンでデジタルサイネージを活かした駅前広場の活用

#### LVA内部と連動した駅前広場

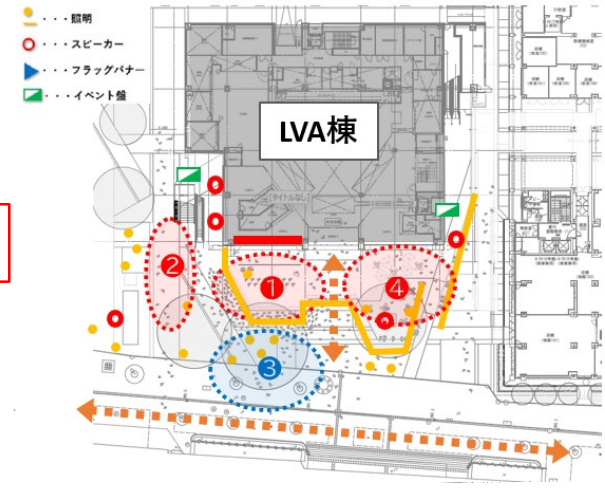
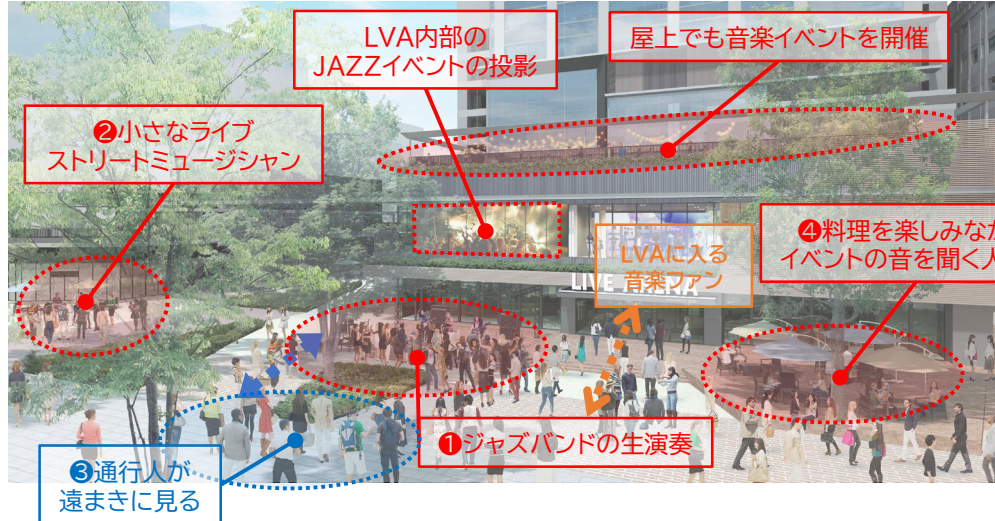
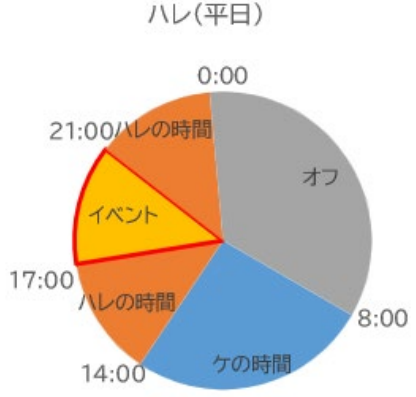
【デジサイコンテンツ案】



音楽・スポーツ観戦イベント



第三者広告



#### 地域イベントと連携した駅前広場

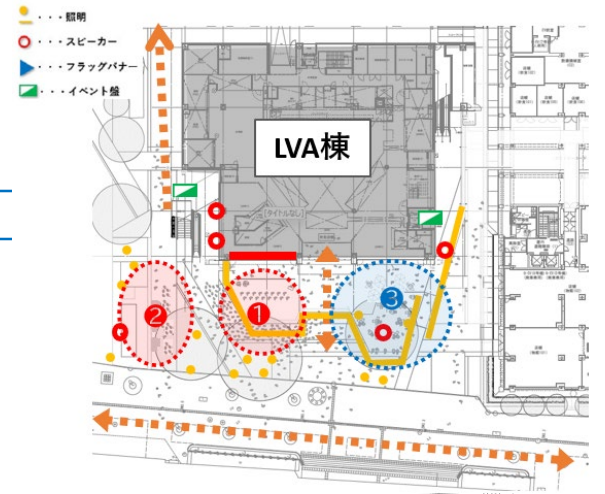
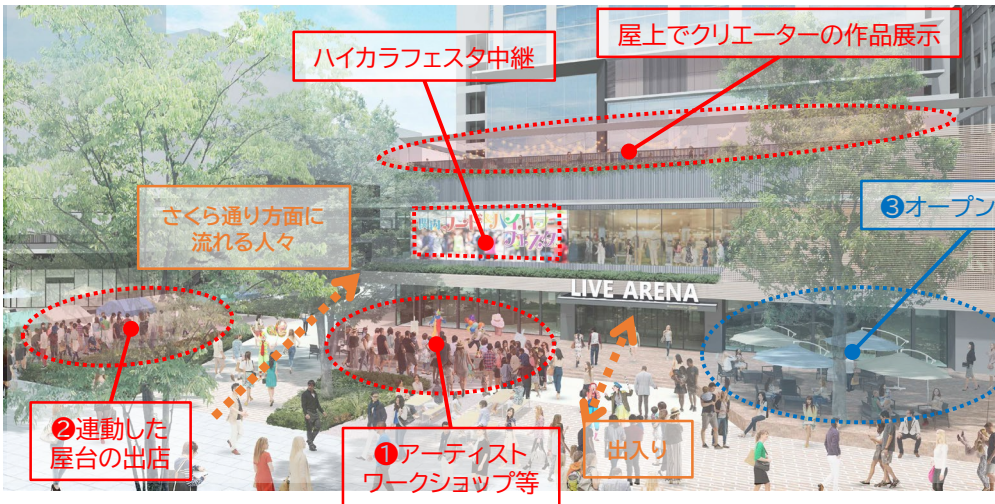
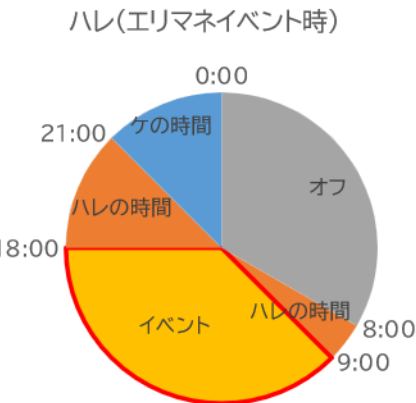
【デジサイコンテンツ案】



地域イベント



第三者広告



#### 日常時の居心地の良い駅前広場

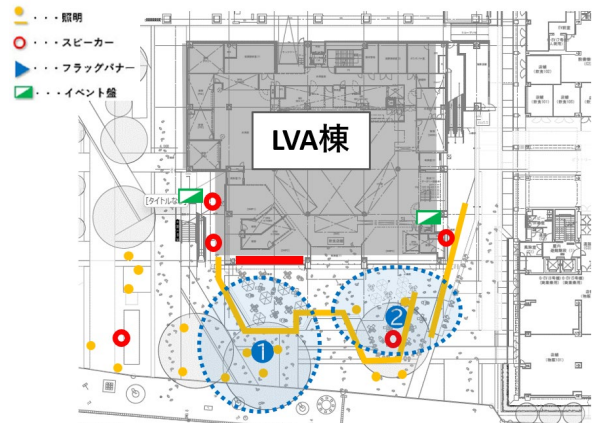
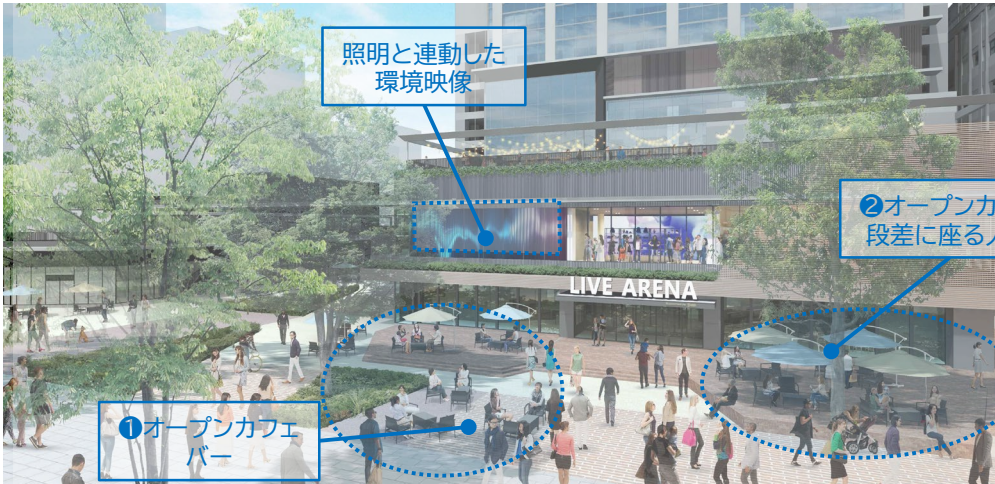
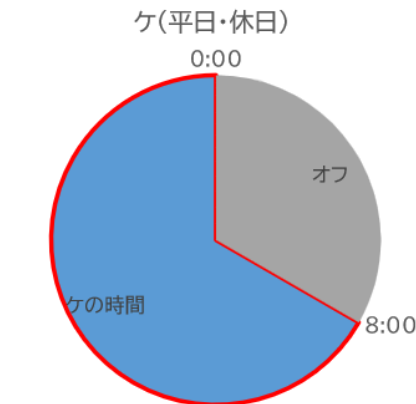
【デジサイコンテンツ案】



照明と連動した環境映像



街区情報・地域情報 例) have a Yokohama



今後変更の可能性があります



【補足】コンテンツの質の担保

「ハレ」と「ケ」に分けてデジタルサイネージの質の担保を実施

ハレ（イベント及び原則イベント前後の3時間）： イベントと連動したコンテンツ、プロモーション動画、第三者広告の掲示  
ケ（上記以外の日常の時間帯）： 照明と連動したアート、街区情報、地域情報など

■ 日常時の放映コンテンツイメージ

テーマを決めて、テーマに沿った「日常時」のコンテンツを作成（仮にテーマをLVAと同じ「WAVE」とした場合）  
※例えば、委員会形式で質を担保することなども検討する



昼景



夜景



演出イメージ①

「WAVE」をテーマにコンテンツを作成し、街区情報や地域情報放映する場合なども含めて統一のデザインコードを活用。



“WAVE”をコア思想に置いた

ムーブメント①

ムーブメント②

施設演出

情報発信

建物景観の見え方・印象を醸成する、映像装置としての演出

様々な文化を発信する拠点としての機能をこのサイネージに担わせた機能

演出イメージ②

横浜のピックアップアーティストとして、若手現代作家をキュレーションし、「Wave」をコンセプトにした作品をに放映。

■ 質の担保参考事例：have a Yokohama

制作体制を整えて、クリエイターがコンテンツを作成することで質を担保



今後変更の可能性がります



# 4. 景観形成の考え方

## 【補足】夜間景観

**【ハレの夜景】**  
●イベントと調和した照明で駅前広場と一体となった夜景

**【ケの夜景】**  
●ルーフクラウン照明とデジタルサイネージが連動し、建物と調和した落ち着いた夜景  
●水平ライン照明を追加し、駅前エリア全体の横軸の繋がり強調



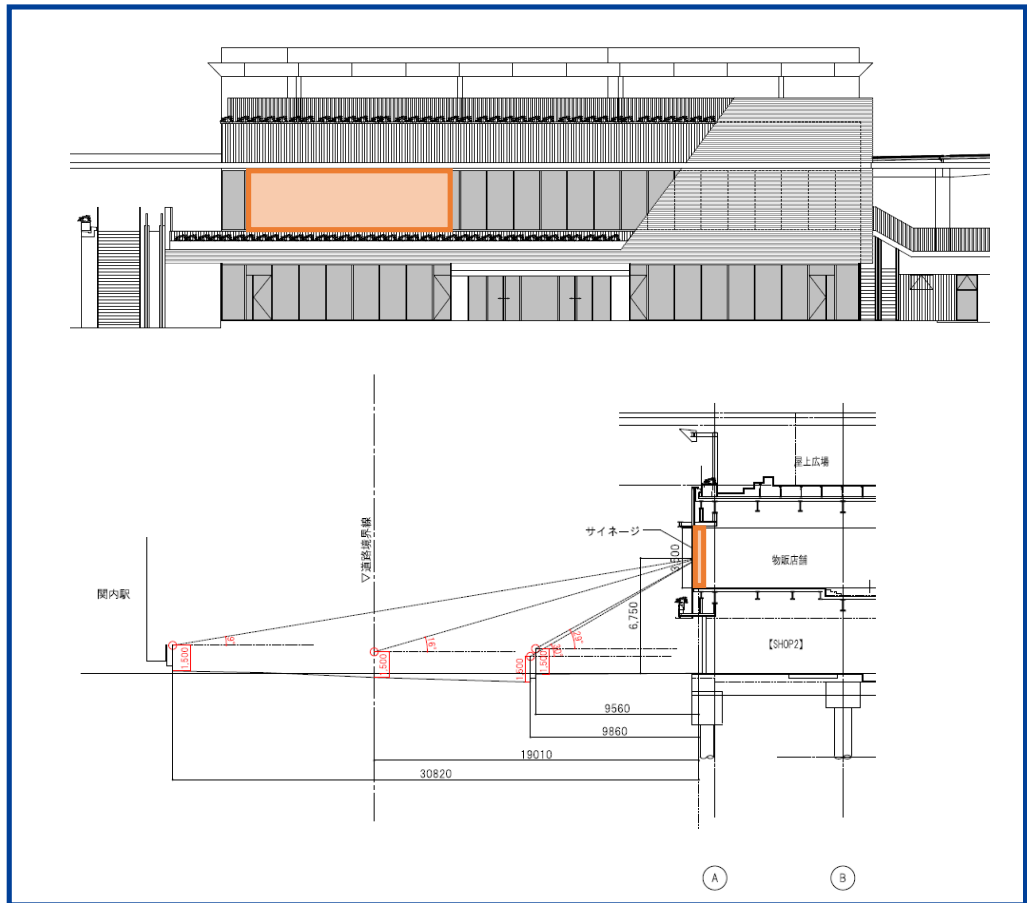
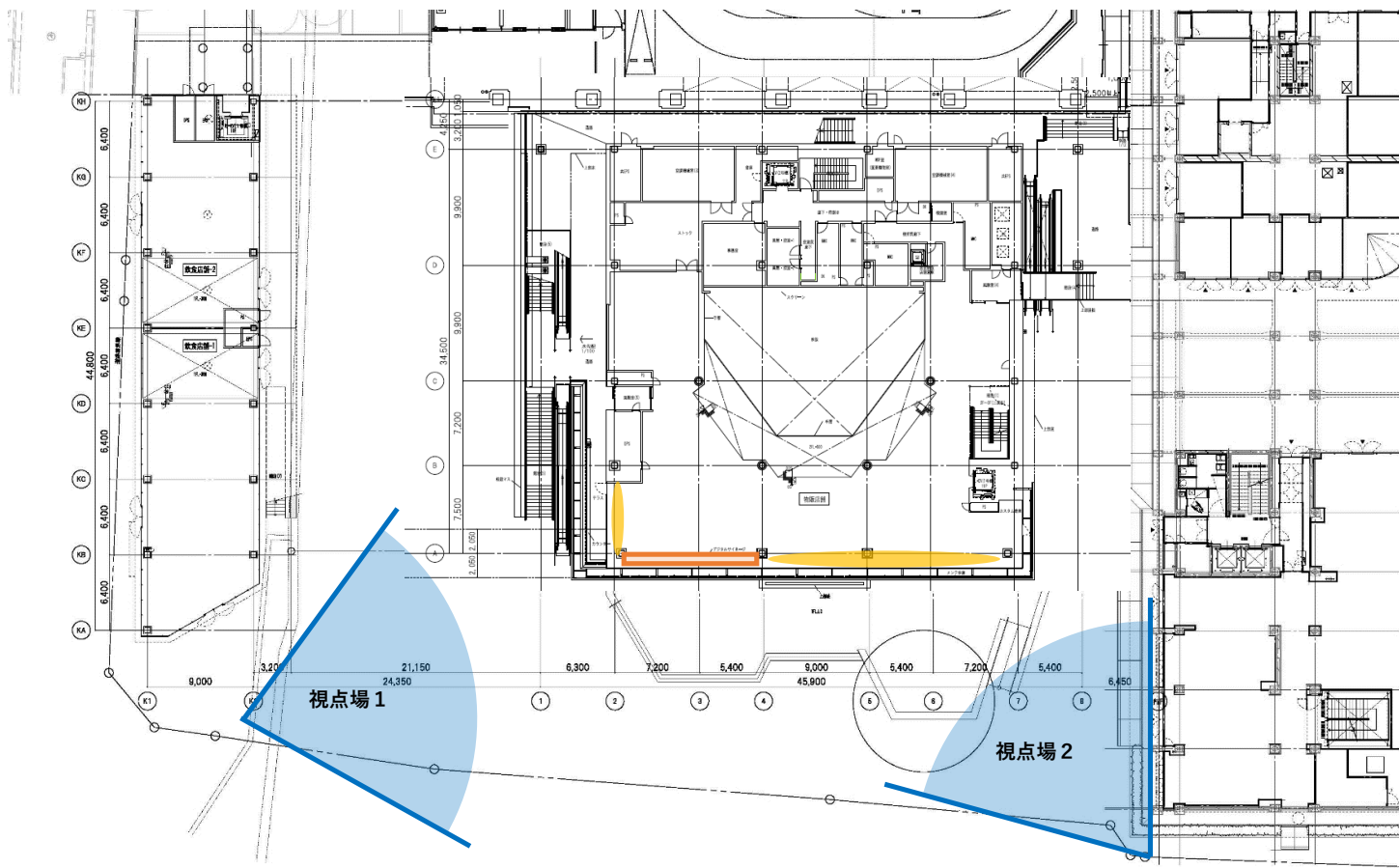
今後変更の可能性があります



# 4. 景観形成の考え方

## 【補足】サイネージの視野範囲

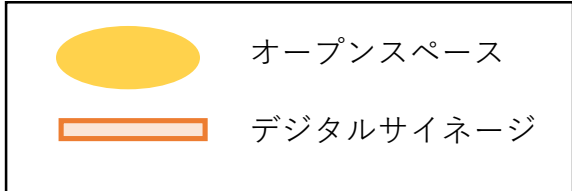
設置位置



視点場 1



視点場 2

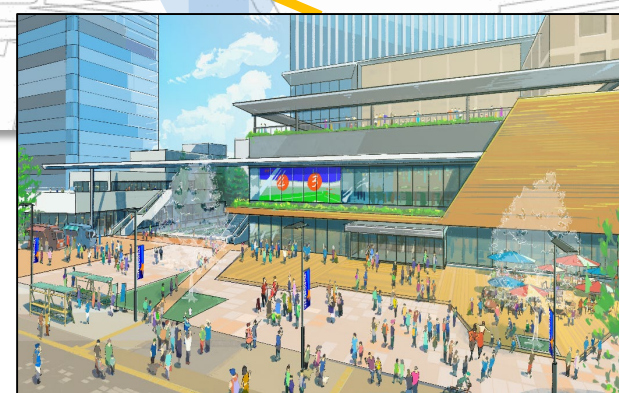
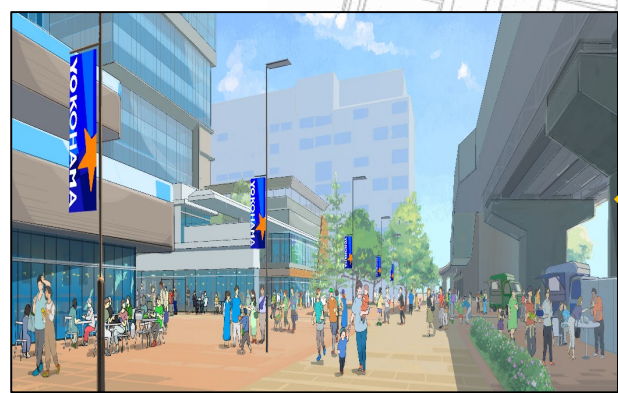
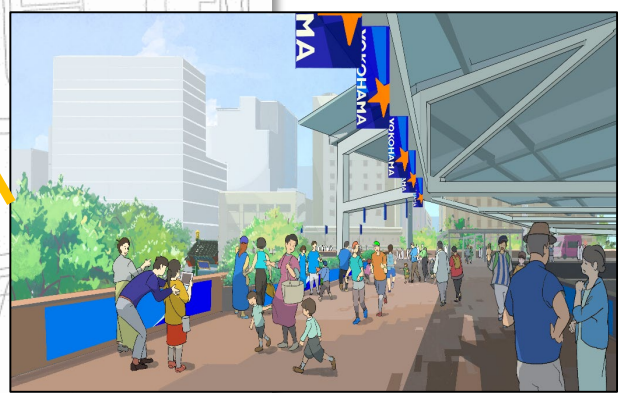
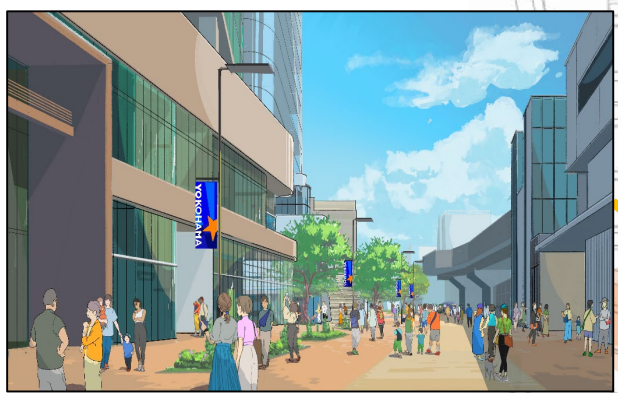
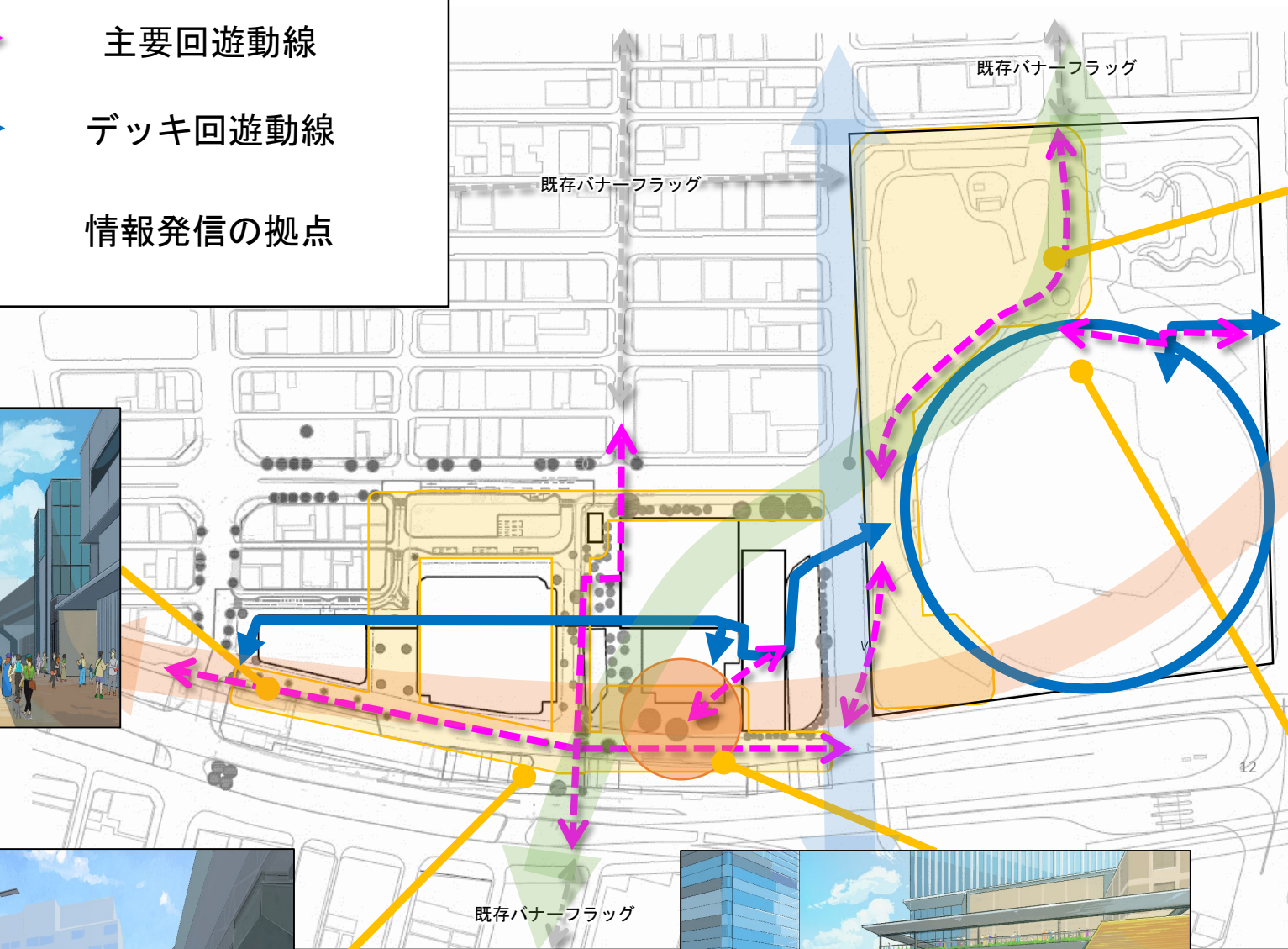
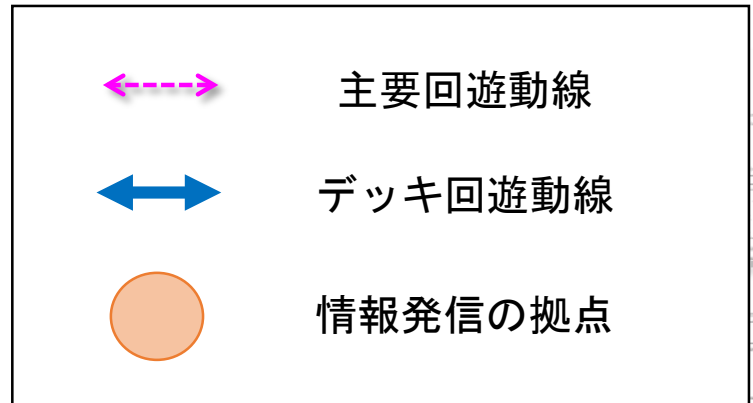


今後変更の可能性があります



# 4. 景観形成の考え方

## 【補足】周辺街区と連携した一体感のある賑わい形成の検討



今後変更の可能性があります